

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 (3)	運営推進会議にてヒヤリハット事故報告を行っているが発生報告のみで課題の検証について報告がない。運営推進会議で提示された課題は、次回会議や議事録にて解決策等を提示する等、継続的な会議運営をしてほしい。	ヒヤリハットや事故報告などの経過・改善報告によりサービスの質が向上する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット・事故の理解を深める研修を行う。</li> <li>・研修内容としてヒヤリハットや事故報告書の書き方や継続した経過観察ができるよう徹底する。</li> <li>・事故内容と改善策の結果報告を行う為の委員会の設置を法人と検討していく。</li> </ul>	6ヶ月
2	6 (5)	身体拘束適正化委員会の委員名簿・議事録についてパソコン内のデータを確認したが職員全員での情報共有ができていないが不明。実施記録が確認できなかったため指針・マニュアルと記録の整理を行い職員全員での共有ができる仕組みづくりが望ましい。	記録を清書し結果を職員全体で確認し身体拘束に繋がらないケアが提供できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な資料作成と委員会の実施を主任中心に実施し。職員に回覧する体制を作る。</li> </ul>	6ヶ月
3	11 (7)	定期的な個人面談の機会は設けているが職員の自己評価に基づき管理者・法人代表が評価してスキルアップを図るなど評価制度の仕組みの構築を実施してほしい。	面談で得た情報をもとにスキルアップの機会を職員に還元できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ制度の実施により職員のスキルアップと意欲向上を図っていく。</li> </ul>	6ヶ月
4	35 (13)	避難訓練は定期的実施しているが、前回の課題を踏まえての訓練が出来ていない。また災害時のBCP計画の作成が令和6年3月末までに求められているため事業所での対策を検討が必要。	災害訓練の課題への取り組みが継続して行え避難訓練の練度が上がる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練後の議事録作成と反省会の実施。</li> <li>・反省点に基づいた課題の抽出と次回訓練時の実施を防火管理者を中心に実施していく。</li> </ul>	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。